

平成25年4月28日
今週のベストショット



雁レクE ブルーマーリンズ 対 奈多クラブ戦
ノーヒットノーランを達成した今林瑠投手（中央）と赤沢捕手（左）と今林辰也監督（右）
（写真：ソルトベイスターズ 田中裕次郎）

雁レクE 奈多クラブ今林瑠投手、早くもノーヒットノーラン達成！

ブルーマーリンズ（1敗）00000 0 林●ー尾田
奈多クラブ（1勝）11701× 10X 今林瑠○ー赤沢

HR：今林祐将（奈多ク） 3BH：今林卓也、赤沢大輔（奈多ク）

盗塁：末松（ブルー）吉田、今林賢人（奈多ク）

一回表ブルーマーリンズは相手のエラーと四球で二死一二塁と先制のチャンスも後続が倒れ無得点。対する奈多クラブは四球で無死一二塁のチャンスでマーリンズ末松三塁手の好捕で二死となるも五番今林健選手のライト前ヒットで1点先制。二回にも1点を追加した奈多クラブは三回今林卓也選手のヒットからチャンスを作り今林健選手、上野選手、砂場選手の連続センター前ヒットで加点すると一番今林祐将選手の右中間を破る満塁ホームランで7得点のビッグイニング。五回にも今林祐将選手の二塁打で1点追加しコールド勝ちとなった。奈多クラブ今林瑠投手はこの試合でノーヒットノーランを達成。おめでとうございます。しかし荒れ気味の投球を悔いてか、コメントは「ビミョーです。」とはにかみながら答えてくれました。

（記事、写真：ソルトベイスターズ 田中裕次郎）



初回、好捕するブルーマーリンズ末松三壘手。



一回裏、先制のホームを踏む奈多クラブ今林卓也選手。



三回裏、ダメ押しホームランを放った今林祐将選手。



三回裏、ホームに突入する今林卓也選手だがタッチアウト。



力投するブルーマーリンズ林投手。



微妙なクロスプレー！



開幕戦でいきなりノーヒッター達成！今林瑠投手。



左から赤沢捕手と今林瑠投手と今林辰也監督。

雁レクD 昨年覇者フェニックス、初戦コールド勝ち！

レッドサンデーズ（1敗）00000 0 田中●ー前田

奈多フェニックス（1勝）52111X 10X 砂場○、今林（勇）ー実延（新）

HR：沖（奈多フ）、2BH：西藤X3（奈多フ）

昨年度覇者フェニックスとメンバー入れ替えで躍進を図るレッドサンデーズとの一戦となった。先発はレッド田中投手、フェニックスは砂場投手。初回レッドは三者凡退。その裏、フェニックスはエラーと四死球で1点先制後、七番沖選手がレフトオーバーの満塁ホームランを放ち、5点を挙げた。二回表、サンデーズは六番土師選手がライト前で出塁するが、あとが続かず、残塁に終わる。二回裏、フェニックスはライト前で出塁した一番西藤選手を二番高原選手がレフト前ヒットで返し、打った高原選手もレフト後逸によりホームに返り2点を追加。サンデーズ打線はフェニックス砂場投手を前に沈黙を続け、フェニックスは三回、四回も得点を追加した。五回裏、フェニックスは五回表より代わった今林（誠）選手と今林（心）が出塁すると一番西藤選手がセンター前ヒットで、五回コールドゲームとなった。1安打に好投した砂場投手と確実に点を重ねていったフェニックス打線に今年も優勝好捕の一角になることを予感させる試合となった。また、エラーから失点を許してしまったレッドサンデーズにとっては悔しい試合となってしまった。（記事：三友クラブ 駄原孝一郎、写真：大坪和則）



レッドを1安打に抑えたフェニックス先発砂場投手。



制球が定まらず打ち込まれたレッド田中投手。



一回裏、満塁ホームランのフェニックス七番沖選手。



二回表、ライト前を放つレッド六番土師選手。



三回表、フォースアウトに倒れるレッド田村選手。



四回表、ライトフライを取るフェニックス今林（英）選手。



四回裏、クロスプレーのレッド前田捕手とフェニックス実延（彰）選手。



五回裏、コールドとなるセンター前を放つフェニックス西藤選手。

奈多グラウンド 開幕の乱打戦を奈多サンデーズが制す！

新町ウインズ（1敗）005207 早田、城戸●ー今林

奈多サンデーズ（1勝）4050X9 江口○ー荒口

HR：今林、野田×2（新町ウ） 3BH：秋山、野田（奈多サ） 2BH：秋山、吉留（奈多サ）

盗塁：渡辺（新町ウ）宮口（奈多サ）

天候不良により、予定より3週間遅れとなった今季の開幕戦。先攻の新町ウインズは初回、先頭打者の桐島選手がセンター前ヒットで幸先良く出塁するも、後続が倒れ無得点。先制のチャンスを逃した。その裏、奈多サンデーズは、三者連続の内野安打で塁を埋め、迎えるのは新加入の四番秋山選手。力強い打球がレフトの頭上を越え、ランナーは次々と生還。打った秋山選手も本塁へ突っ込むが一步及ばずタッチアウト！しかしながら、サンデーズはこの後1点を加え4点を先制。初回、二回と先頭打者を出しながらも得点に繋げられなかったウインズは、三回ようやく目覚める。先頭の桐島選手が出塁すると、二番泉選手がレフト前ヒットで続く。ここで迎えた三番今林選手が、初回のお返しとばかりにライトへのホームランを放つと、続く四番野田選手もホームランを放ち、この回5-4と試合をひっくり返した。だが、逆転されたサンデーズも黙ってはいない。この裏、ウインズ2番手の城戸投手を攻め立て、5本の長短打を集中！奪われた5点を取り戻し、再びウインズを突き放しに掛かる。ウインズは四回、野田選手の2打席連続となる2ランホームランでサンデーズを追い詰めるが、反撃もここまでだった。両チーム合わせて20安打、うちホームラン3本を含む7本の長打が飛び出す乱打戦を制したのは、新戦力が揃って結果を出した奈多サンデーズであった。（記事、写真：三苦三球会 中村元）



一回裏、サンデーズ新四番秋山選手の力強い打球が
レフトへ飛ぶ。



サンデーズ荒口選手の頭脳プレー！？一二塁間に挟ま
れている間に三塁走者がホームイン。



二回表、盗塁を決めるウインズ渡辺選手。



三回表、ウインズ三番今林選手がライトへホームラン！



続く四番野田選手も二者連続となるホームランを放つ。



三回裏、宮口選手の打球に飛び込むウインズの渡辺三塁手。



四回表、2本目の2ランを放ったウインズ野田選手。



五回表、ウインズの反撃の芽を摘むサンデーズ土田二塁手
のファインプレー。



四番としての打撃をみせた野田選手。HRキングを狙いたい。



苦しみながらも勝利を上げたサンデーズ江口投手。

青松園A 序盤のリードを守り抜き、パイレーツ快勝！

三苦フレンズ (1敗) 1 0 0 0 0 0 1 山口●ー佐藤

新町パイレーツ (1勝) 0 1 1 0 2 × 4 吉田○ー大濱

盗塁: 佐藤(三苦フ)

初回にパイレーツは先制を許すも、二回裏二死二塁からバッテリーミスの中に走者桐島選手の好走塁で同点に追いつくと、三回裏無死から二者連続四球と内野安打で満塁のチャンスを作り、三番白岩(将)選手のライト前タイムリーが飛び出しパイレーツが2-1とリードを奪う。なおもチャンスでこのまま大量得点といきたいパイレーツであったが、フレンズのショート生野(拓)選手のダイビングキャッチなど好プレーが飛び出し、最少失点で抑えられる。このプレーで試合の流れを掴みたいフレンズであったが打線が振わず、結局五回にも守備の乱れなどによって2点を追加されてしまい先発山口投手の力投むなしく、フレンズは黒星スタートとなった。

(記事、写真: 雁の巣ライナース 明瀬旭)



フレンズ打線を1点に抑えたパイレーツ吉田投手。



力投するも、報われなかったフレンズ山口投手。



二回裏、同点のホームを踏むパイレーツ桐島選手。



三回裏、一死満塁から三遊間の痛烈なライナーをダイレクトキャッチするフレンズ生野(拓)選手。

第1週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

4月28日にやっと開幕した今シーズンですが、日程の都合で奈多下水処理場横にあるFIT（福岡工業大学）グラウンドを使う機会がありそうですね。FITグラウンドは朝9時以降でしか使用できませんので、Wヘッド一時の使用となります。その際審判チームは、福岡工業大学入口まで鍵を取りに行き、終了後はトイレも含めて清掃整備を行って、施錠・鍵の返還までお願いします。

さて、4月28日は早速大記録が達成されました。

雁レクEのブルーマーリンズ対奈多クラブ戦は、今季から復帰した奈多クラブ今林瑠（るい）投手（20歳）がノーヒットノーランを達成！おめでとうございます。打っても10安打10得点のコールド勝ち。昨季わずか3勝しかできず、ブルーマーリンズにも勝ち星を献上した名門の復活に期待が集まります。元々力を持った選手が多いので、その力が優勝に向けて集約されれば、一気に優勝候補に名乗りを上げそうです。ブルーマーリンズは昨季唯一勝ち星を挙げた相手に完敗しましたが、リーグをにぎわせる活躍を期待します。

雁レクDのレッドサンデーズ対奈多フェニックス戦は、昨年覇者フェニックスが初回二死満塁で、新人の七番沖選手（24歳）がレフトを軽々と超えるHRを放つなど0-10のコールドでレッドを下し、危なげなく白星発進。レッドは奈多サンデーズから三・四番を移籍で獲得したが、若手の放出・開幕前の監督交代・選手の欠席等が響き、わずか1安打に抑えられる結果に。チーム意識の統一が望まれます。

奈多グラウンドの新町ウインズ対奈多サンデーズ戦は、レッドから若手を獲得し、新戦力の補充で若返りと打力を手に入れたサンデーズが初回から4点を先制するも、三回表開幕戦勝利に執念を燃やすウインズの三番今林孝智、四番野田選手の連続HRなどで逆転を許す。それで目が覚めたサンデーズ打線が一気に爆発し再逆転すると、ウインズ野田選手の2打席連続HRなどの7点を撥ね退け7-9で勝利。新戦力秋山・吉留両選手（ともに33歳）が2安打ずつ放ち先発全員安打のサンデーズは、隔年で優勝している今年要注意です。

青松園Aの三苦フレンズ対新町パイレーツ戦は、昨年惜しくもプレーオフで涙を飲んだパイレーツが、先制を許すもののエース吉田投手の抜群の安定感でフレンズを1安打に抑え1-4で勝利。フレンズ先発の山口投手は強力パイレーツ打線を4安打に抑えるものの、6四球が響いた。しかし、昨季終盤から好ゲームを展開しているフレンズは間違いなく台風の目になってくるでしょう。

この日、2試合サヨナラコールドゲームがありましたが、どちらもコールド達成した打球は外野を抜けて、バッターランナーはホームまで帰って来ていました。記録はHR？これは昨年の運営会議でも確認した事例ですが、柵越えでない限り、コールドゲーム成立のランナーがホームインした時点で到達していた塁打となります。当然打点はそのコールドゲーム成立のホームインしたランナー分までです。よってコールド成立まで残り1点で三塁ランナーが生還した奈多クラブ今林祐将選手は単打1打点、残り1点で二塁ランナーが生還したフェニックス西藤選手は二塁打1打点となります。記録をされるチームの方は、打点・塁打を注意して記録してください。

さあ、GWでまた1週空きますが気候のいい季節になってきました。今シーズンも怪我なく、楽しいソフトボールをやっていきましょう。

今年から月曜日夜までにレポートと写真を送って頂いて、今までの火曜日徹夜作業から解放されつつあります。この調子で各編集部員さんは期限厳守でお願いします！スコアブック写真をお忘れなく。

WSLの皆様、またそれ以外でこのHPを見て下さる皆様、今年もよろしくお願いします。